

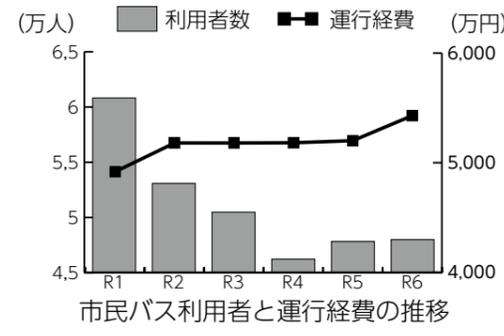
公共交通がピンチですー！

買い物や通院、通学など市民の暮らしを支える公共交通。年々利用が減少し、公共交通の維持が難しくなっています。

圏地域づくり振興課 ☎52-2116

久慈市の公共交通機関

市内の公共交通は、久慈駅を中心に、JR八戸線、三陸鉄道リアス線、路線バス、高速バス、市民バス、タクシーが運行。市内の移



動のほか、市と近隣市町村や主要都市とをつないでいます。

人口減少や自家用車の普及などにより、公共交通の利用者数は年々減少し、公共交通機関の維持確保が難しくなっています。JR八戸線は、較く久慈間が赤字区間として公表されました。三陸鉄道も赤字が続くなど厳しい状況となっています。

市内の移動を支える市民バスも市が経費を負担して運行していますが、経費は年々増加しています。一方で、利用者は減少傾向にあり、利用者一人あたりの財政負担額も増加している状況です。

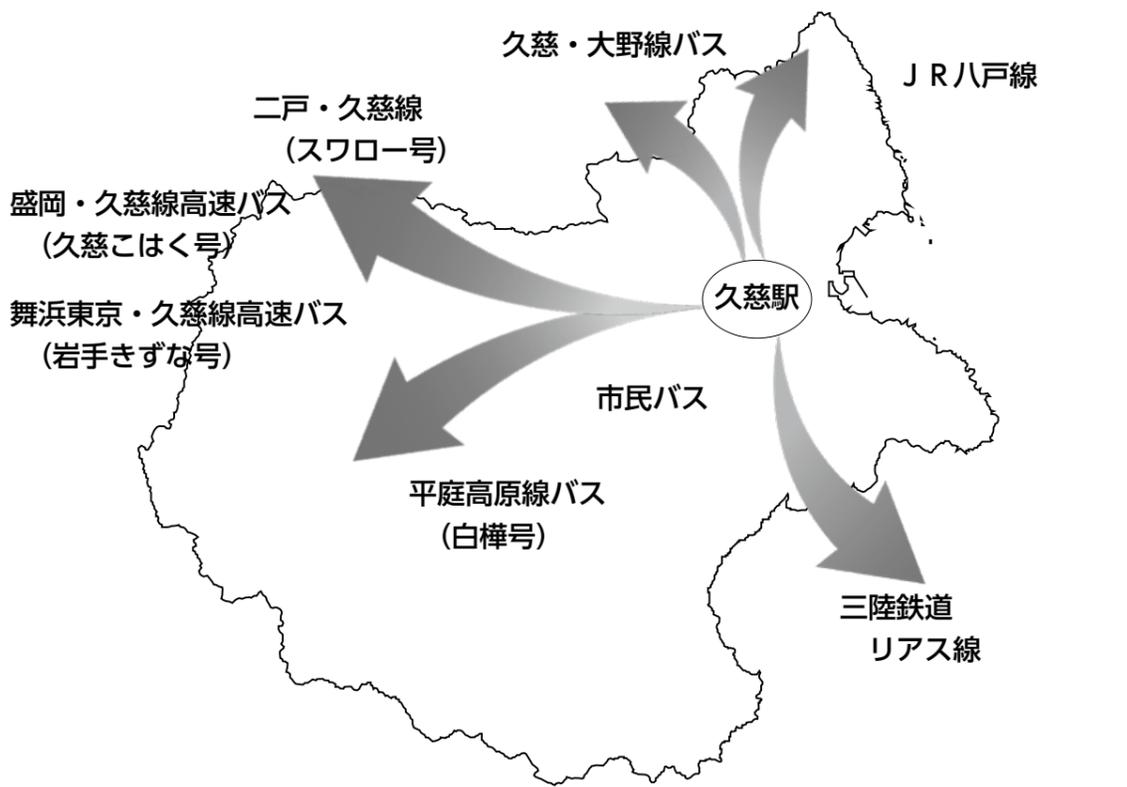
市民バス等の確保・維持にかかる利用者1人あたりの財政負担額

年度	R1	R6
財政負担額(円)	977.4	1523.7

年に数回でも移動の選択肢に

市では令和6年3月に久慈市地域公共交通計画を策定。官民連携で持続可能な公共交通に向けて検討を進めています。

公共交通は使う人がいなければ、存続が難しくなります。一人一人が年に数回でもいいので、公共交通を使っていくことが重要です。今は生活に必要がなくても、将来のために親子で利用して、乗降したり運賃を支払ったりする経験もしながら外出してみませんか。



なぜ無くてはならないのか

公共交通機関の利用者の多くは高齢者や高校生などの移動に制約を持つ人たちです。通学や通院、買い物の足として欠かすことができません。



年齢になり自動車の運転免許を返納したり、予期せぬ理由で運転ができなくなったりしたときに、公共交通機関がなければ、久慈地域に住み続けることができなくなるかもしれません。現在は自動車で移動しているため、自分には無関係とはならないのです。

市内の公共交通機関は、それぞれが違った特徴や役割を持っています。鉄道や路線バスは都市間などの広域的な移動を支えています。一方市民バスは市内の各地域と市街地の移動など日常生活に密着した交通サービスです。鉄道やバスは、時間や経路に制約を受けますが、時間に正確で安価に利

用できるといいうメリットがあります。一方でタクシーは鉄道やバスよりも高価にはなりますが、時間や経路に制約がなく、介護サービスや買い物支援など利用者のニーズに柔軟に対応できる点がメリットです。

このようにそれぞれが役割を持ち、どの公共交通が欠けても、私たちの生活に大きな影響を与えます。久慈には多くの観光客が訪れています。公共交通が無ければ、観光先や移住先に選ばれなくなり、地域経済の衰退につながる可能性もあります。公共交通の衰退は、ひいては、地域の衰退に直結していくのです。



高齢者運転免許証 自主返納奨励事業

市では運転免許証を自主返納した人を対象に、乗車券やICカードを交付しています。

- ▶対象者…①から③を満たす人
 - ①平成30年4月1日以降に全ての運転免許証を自主返納した人
 - ②免許証を返納した日の属する年度に65歳以上となる人
 - ③免許証返納時、申請時に久慈市に住所を有する人
- ▶配布内容…次の中から希望するものを選択(12,000円分)。交付は1人1回限りです

- バス・タクシー回数乗車券
 - 利用できるバス路線…市民バス「のるねっとKUJI」(侍浜線、川代線、新町線、日吉循環線、山根線、久慈海岸線、山形線、津内ロデマンドタクシー、根井デマンドタクシー)、大野線
 - 利用できるタクシー会社…ヒカリタクシー・久慈タクシー・陸中観光タクシー・三河タクシー

- 地域連携ICカード「iGUCAL」
 - 岩手県北自動車株式会社で発行し、同社が運航する市民バスと路線バス、JRバス東北株式会社が運行する路線バスで利用できます。Suicaマークのあるコンビニや飲食店などでも利用できます

- ▶申請方法…次の書類を用意し、市役所1階生活環境課に申請してください。申請書は本人が記載してください。

- ①運転免許証の取消通知書の写し※免許証を自主返納した際に交付されます
- ②手続きする人の身分証明書(運転経歴証明書、保険証など)

圏生活環境課 ☎54-8003

残すには利用するしかない



川代地区振興会会長 夏井 俊勝さん

川代地区振興会では、市民バスが無くなるように参加者を募ってバスを利用し、買い物や食事を楽しむイベントを実施しました。私も高齢になり、いずれ運転免許を返納することになります。山間部に住む私たちは、市民バスが無くなってしまえば、どこにも行けなくなり大変です。形を変えてでも残ってほしいです。

公共交通は進路選択にも影響

地元の洋野町市からの通学や休日の部活動に通うために、JR八戸線を利用しています。親は自営業のため、毎日の送り迎えをすることになれば大変です。進路選択では地元を離れての進学を考えていましたが、バスでの通学は難しく、JR八戸線がなければ久慈への進学は難しかったかもしれません。



久慈翔北高等学校2年 中村 駿也さん